

「医療職の連携によるチーム医療の理解」

医療専門職の専門性と役割

医師:診療、診断、リーダー的役割

看護師:患者のケア、監視、入院の説明、医師のサポート

看護助手:食事・入浴の介助、ベッド管理、リハビリの付き添い、看護師のサポート

クラーク:診断書作成補助、医療保険の手続き、医師の負担軽減

薬剤師:調剤、麻薬管理、処方提案、薬の相互作用のチェック、服薬指導、治験、医師の負担軽減

検査技師:検査報告、医療機器の管理

効果的な連携とは？

目的

- 何より患者さんの希望・要望・QOL向上のため
- 様々な視点から病気を見て、効率的かつ効果的な治療を行う

どのように？

- トップダウン方式ではなく対等なパートナーとして
- 患者さんとの対話や別職種間のコミュニケーションを密に
- 電子カルテの導入等による患者情報の共有

チーム医療の現状における問題点

- 質問された時や意見を言った際の医師の対応の悪さ
- 効率化を図るあまりに“患者中心の医療”からかけ離れている
- 情報の共有不足
- 年齢や上下関係などから意見を遠慮してしまう

解決方法

- 対等な立場で遠慮なく意見を言えるようにする
- 患者さんもチームの一員として病気について考え、治療方針決定等を行う
- お互いの業務内容を把握しあう
- 各自の意識改革

医学生としてチーム医療を推進するために何を行うのか

- 医師以外の医療専門職について尊重し深い理解を持つ
- 他の医療専門職を目指す学生と交流を持つ
- 実習等で医療の現場について知る
- コミュニケーション能力の向上を図る